

子どもワークショップ

自分も他の人も大切な存在だと思える人権意識をはぐくみながら、さまざまな暴力から自分を守るためにできることを学びます。

小学生対象の内容

● ロールプレイと話し合い

① いじめ

どうしたらいい？

② 誘拐

「知らない人」に連れて行かれそうになった時

③ 性暴力

いやな触られかたをされたら？

● 自分を守るためにできること



NO

「いや！」と
言ってもいい

GO

逃げてもいい
怖くなったら
特別な叫び声

TELL

相談することも
大切

子どもの大切な3つの権利
安心 自信 自由

CAPプログラムは

1978年にアメリカで作られ、他の国でも取り入れられています。

日本でも、1995年から実施されています。自治体の助成金や教育委員会の取り組みなどにより、学校の授業に取り入れられています。また、PTA家庭教育学級での実施の他、社会教育事業や福祉施設などで研修としても実施されています。

CAP東埼玉は

1997年に発足した「東埼玉CAPを学ぶ会」がもととなり、2002年に「CAP東埼玉」と改名し越谷市を拠点として、おもに埼玉県の東部地域を中心に活動しています。



CAPプログラムの提供のほか、子どもの教育、環境などさまざまな問題について語り合える仲間づくりをめざします。

私たちCAPスタッフは、毎年多くの子どもたちに出会います。その子どもたちにとって、CAPとの出会いは一生に一回のことかもしれません。その時間を大切に、CAPを届けたいと思っています。



お問い合わせ先

CAP 東埼玉 代表：栗田みえ子

TEL：090-6177-6858

FAX：048-978-8635

<https://cap-higashisaitama.crayonsite.info/>

[NPO 法人 CAP センター・JAPAN 登録団体]



Child Assault Prevention

CAP 東埼玉

キャップひがしさいたま



子どもたちが いつでもどこでも
安心して自信をもって
生きていくには

CAPって何?

CAPとは、Child Assault Prevention (子ども・暴力・防止)の頭文字をとったもので、子どもがさまざまな暴力から自分を守るための学習プログラムです。

おとなワークショップ

子どもを支えるためにはどんなことができるでしょう。CAP東埼玉では主催者のニーズに合わせた内容を提供しています。

基本的な内容

- 子どもの人権
- 子どもワークショップの紹介
- おとなにできること

子どもを守るために知っておきたいこと
「子どもが被害にあった時」の対応
子どもを守る地域(コミュニティ)を作ろう

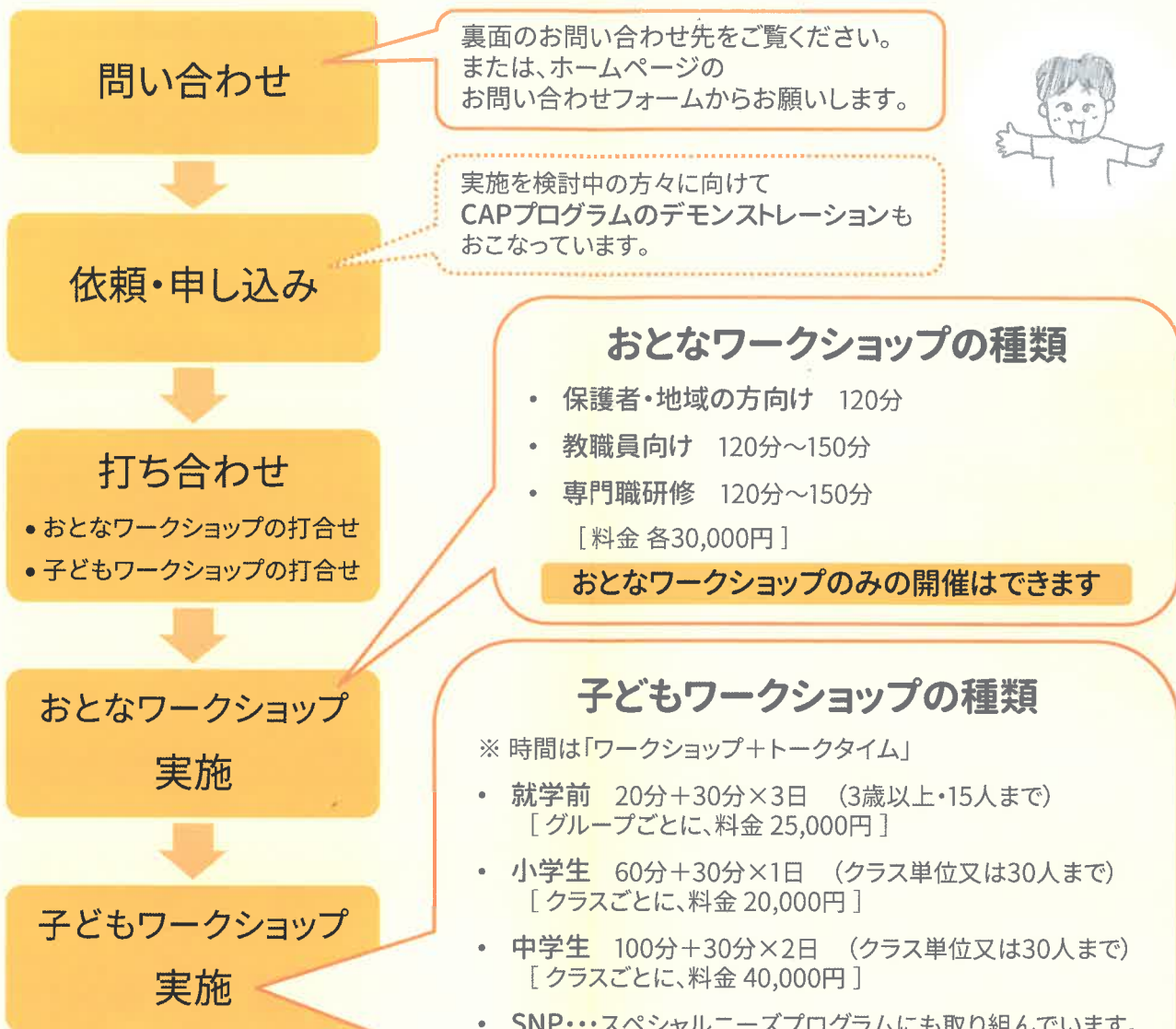
《以下のテーマから選択することもできます》

- しつけと体罰
- いろいろな子ども(LGBT・知的障がいなど)
- 就学前の子どもの発達と育ち
- いじめ防止
- その他(虐待など)

※ 詳細はご相談ください



CAPプログラム実施までの流れ



おとなワークショップの種類

- 保護者・地域の方向け 120分
 - 教職員向け 120分~150分
 - 専門職研修 120分~150分
- [料金 各30,000円]

おとなワークショップのみの開催はできます

子どもワークショップの種類

- ※ 時間は「ワークショップ+トークタイム」
- 就学前 20分+30分×3日 (3歳以上・15人まで)
[グループごとに、料金 25,000円]
 - 小学生 60分+30分×1日 (クラス単位又は30人まで)
[クラスごとに、料金 20,000円]
 - 中学生 100分+30分×2日 (クラス単位又は30人まで)
[クラスごとに、料金 40,000円]
 - SNP...スペシャルニーズプログラムにも取り組んでいます。(知的障がいのある子どもたちへのプログラム)
 - 児童養護施設でも実施しています。

※子どもワークショップをおこなうためには、必ずおとなワークショップの開催が必要です。

費用その他については、ご相談ください。なお、交通費は、実費をお願いしています。